

***** 宮崎知事選について *****

保守王国宮崎でそのまんま東氏が7万票の差をつけて当選しました。

< 質問 >

お笑いタレント出身の人は職業柄、人の心を捉えるのが上手いからとは言うものの快勝です。タレント仲間からの応援を断り、マニフェストを充実させる等。選挙ドラマを地で行く内容で勝ちました。もし本人が戦略を考え実行していたとしたら凄い能力と言えますが。老師はどう思われますか。

< 回答 >

そのまんま東という人は、政治家としても非常に優れた人ではないかと見ております。選挙前に母校の早大に通学し、マニフェストを作って選挙に臨み、マニフェストの実現を訴えたと聞いておりますが、政治家として立派だと思います。

< 質問 >

直後に鳥インフルエンザが発生し、現場視察に行ったのは良いのですが、職員の制止によって入り口で引き返しました。現場実態を見ないなら単なるマスコミ対応のパフォーマンスと考えられますが。どのように思われますか。

< 回答 >

現地に出向いて視察を断られた事のようにですが、先方から断られれば止むを得ない事情もあつてのことと思いますので、あまり非難する必要も無いように感じております。

< 質問 >

滋賀県でも女性の学者出身者が新幹線新駅の撤廃を掲げて当選しました。どちらも地域住民が従来の延長線ではダメだとの意思表示ですが、議員や政党を上手くリードして成果を挙げる為には何が必要なのでしょうか。

< 回答 >

新幹線の新駅の問題に付きましては、事情をよく承知しておりますので、ご返事を差し控えたいと存じます。

< 質問 >

旧ソ連もアフガニスタンに介入し本体がガタガタになりました。米国はベトナムの教訓を生かしてい無いと思いますが、どのように感じられていますでしょうか。

< 回答 >

ベトナムの場合は、自然環境や兵士の士気から考え、撤退以外に選択肢がありませんでしたが、イラクの場合にはアメリカが仮に撤退をした場合、アメリカは かなり困難な情勢に置かれることとなり、世界的な混乱状態が起こると思います。

アフガニスタンの場合は、アメリカが実際にソ連軍に圧力を掛けて、撤退させたことが事実ですが、今度の場合はアメリカ自身が主役ですから、その方法が取れません。

< 質問 >

スンニ派とシーア派の対立はイスラム教の真の指導者がいないことを示しています。これらの原因の主なものは国の利権の争奪戦なののでしょうか。

< 回答 >

スンニ派、シーア派の対立は、それぞれの派に極めて強力な指導者のいることに問題があり、その背景には石油の利権も関係していると思います。

***** 安倍政権人事の甘さについて *****

安倍総理が行った人事で任命された者の人格による不祥事が目立っています。

< 質問 >

任命する時はそれなりの調査が行われると思うのですがブレインや側近の能力が不足しているのでしょうか。

< 回答 >

安倍内閣に付きましては、組閣以来既に3人程退任する人が出ましたが、ブレインや側近の能力よりも、安倍総理自身が成蹊大学系統の学校を、恐らく幼稚園の時代から1筋に上がる経過を辿った人のようですから、従来 of 政界に必要な政治献金に関する醜さが、実観として頭の中になかった結果ではないかと思っております。

組閣後直ぐにアメリカに行けなかつたことの結果がどう出るかは、まだはっきりしておりませんが、その後のヨーロッパの歴訪やアジアにおける国際会議などは、積極的にこなしているように見受けられますので、今後どのような経過を辿るか、見守るべきであると考えております。

以上

***** ブッシュ政権新政策について *****

ブッシュ政権がイラクの新政策を発表いたしました。年末のフセイン元大統領の敏速な処刑。を始めとしてイランの核開発牽制。イラクの派兵撤退を視野に入れた2万人の増派。等々様々な手を打っていますが先行きは混沌としています。

< 質問 >

米国は戦後の処理を間違ったのでしょうか。

< 回答 >

ブッシュ政権の新政策は正解であると、見ております。何故かと申しますと、力と力の争いは、力で決める以外に方法がありませんから、先ず兵力を増強して、イラク国内における勝敗をはっきりさせる必要が有ると思います。仮に現段階で和平政策を考えれば、事態は更に混乱すると思います。

フセインの処刑は、少し速過ぎたように思います。何故かと申しますと、処刑をしますとフセインが神格化されますから、アメリカの政策にとつてはマイナスであり、むしろ彼を温存して旧指導者が普通の人間であったことを、国民に確認させるべきではなかったと思います。

イランの核問題は、イラクの問題とは別個に国連と協力して処理すべきであり、混同は極力さけるべきであると思います。

私は戦後の処理が間違っていたというよりも、何百年にも亘るキリスト教とイスラム教との対立が、世界史の中で解決を迫られる段階に到達したことを意味すると考えており、問題がそれ程難しいと同時に、人類としてはどうしても解決しなければならない問題に、直面していると思います。